

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2018/09/12

第 41 号

第 2 回幹事会を開催！

第 7 回総会の開催を決定し、議案の審議を行う！



2018年8月21日、役員14名中13名の出席を得て2018年度第2回幹事会を開催し、第7回総会の開催を決定するとともに、上程議題の内容を審議しました。

以下、確認された内容を報告いたします。

基幹労連退職者の会 第7回総会 告示

開催日時
開催場所
議 題

2018年10月16日(火) 15時～

岐阜県「岐阜グランドホテル」

- 【報告事項】 2018年度活動経過報告
2018年度決算・監査報告
2018年度各県本部退職者の会活動報告
- 【審議事項】 第1号議案 2019年度活動計画
第2号議案 2019年度予算

第1号議案 2019年度活動計画ダイジェスト

基幹労連退職者の会(以下、シニアクラブ)は、結成7年目の活動に入ります。

働く者そして生活者として、課題認識を共有する現役組合員と退職された元組合員が一体となって、対応していくことの重要性はますます高まっています。

したがって、シニアクラブは「より力を発揮できる組織」へと拡大・充実を図るべく、取り組みを進めていきます。

2019年度は、4月の統一地方選挙、7月の第25回参議院選挙という「政策実現運動」の重要な取り組みにおいて、しっかり成果を勝ち得ていこうではありませんか。



1. 組織運営

- 会議運営については、前年度までの取り組みを踏襲していきます。
- 地方ブロック懇談会については、政策実現行動に寄与する意味も込めて適切な時期に開催する方向で調整・検討を行います。

2. 各県本部退職者組織の組織拡大・強化

- 2017年度に基幹労連中央本部から提起された「退職者の会の今後の運営に関する対応方向」を踏まえ、現役と連携して取り組みを進めていきます。
- 力を発揮できる組織（共通の課題認識の下で、統一した活動、行動が実行できる組織を作り上げる）への充実をめざします。
- 具体的には、以下の取り組みにより充実を期していきます。
 - ・ 基幹労連と連携し政策実現を推進する。
 - ・ 国政・地方議会に我が代表を送り出す取り組みで統一した意思表示を行う。
 - ・ 会員相互の交流と助け合い、社会福祉・ボランティア活動への参画にまで活動を広げていく。
- 各県本部退職者組織は、引き続き当該県本部と連携して、総会、幹事会、交流会などの開催、運営充実に努める。
- 各県本部退職者組織は、構成組織執行部と職場役員OBをターゲットにした拡大の取り組みを行う。
- 「基幹労連中央退職者の会」の各県在住の会員対象OB（産別役員OB、総合諮問会議経験者OB）で県本部退職者の会に未入会の方への入会を働きかける。
- 労使で構成する会社主体の退職者の会についても、組合員だけでも入会していただくよう要請を続けていく。
- HPやメール等インターネットをより活用した会員とのコミュニケーションづくりの拡充に取り組んでいきます。

3. 基幹労中央退職者の会との連携

基幹労連幹の会を改組した「基幹労連中央退職者」は、多くの会員が関東近辺に在住されており、これまでも中央諸行事に中心的に対応してきていただいていることから、引き続きしっかりと連携していきます。

4. 退職者連合への対応

老後を安心して暮らせる社会にするために、また、安心・信頼の社会保障制度を確立するために、全国の退職者の組織と連携した活動を展開していきます。



5. 政策制度・政策実現活動への取り組み

政策制度・政策実現活動については、基幹労連の政策・制度要求との整合を図りながら、中央、地方での取り組みを進めます。

6. 各種選挙への取り組み

- 国政選挙、地方自治体選挙への対応は、各県本部の退職者組織の実態に即しながら、基幹労連と連携した取り組みを進めます。
 - 2019年4月に実施される「統一地方選挙」では、基幹労連が推薦する各構成組織の組織内地方議員の支援を、県本部・構成組織と連携してすすめます。
 - 2019年7月に実施される第25回参議院議員選挙については、基幹労連がJAMと連携し比例代表選挙で推薦する「田中ひさや」候補予定者をシニアクラブ全体で支援していきます。
- 選挙区選挙については、基幹労連が推薦する候補予定者を支援します。

県本部退職者の会地方ブロック懇談会を開催！

各県本部退職者組織の組織拡大・強化、 政策実現活動の推進について、活発な意見交換を行う！

6月8日四国ブロックを皮切りに、8月29日までの間に全国8ブロックにおいて「地方ブロック懇談会」を開催しました。

各県本部退職者の代表、県本部事務局長にお集まりを頂き、シニアクラブの活動計画を報告し、各県毎の活動の交流を行いました。そして、組織拡大・強化と政策実現の取り組みという課題について、率直且つ建設的な意見交換を行いました。とりわけ、政策実現活動の大きな推進力となるJAMとの連携による「田中ひさや」候補予定者の参院比例代表選挙における支援の取り組みについては、現状の厳しさを共有した上で、現役組合員と一体となって展開していく意思結集を図ることができました。

| | | | |
|-------|--------------------|-------|----------------|
| 6月8日 | 四国地区（受入:愛媛県本部） | 6月25日 | 近畿地区（受入:兵庫県本部） |
| 7月13日 | 北信越地区（受入:長野県本部） | 8月18日 | 九州地区（受入:長崎県本部） |
| 8月20日 | 関東地区（受入:東京都本部） | 8月22日 | 東海地区（受入:岐阜県本部） |
| 8月29日 | 北海道・東北地区（受入:岩手県本部） | | |

※7月10日に予定していた中国地区（受入:広島県本部）は、西日本豪雨災害を勘案し延期としています。

各地方ブロック懇談会の報告については、次号で報告いたします。

西日本豪雨災害「救援・緊急カンパ」の取り組み

シニアクラブに対し、退職者連合より、大きな被害をもたらした「西日本豪雨災害」の救援・緊急カンパの要請がありました。

内容は、連合緊急カンパに沿って対応するというものです。

シニアクラブとしてはその趣旨も含めて、現在、展開されている「基幹労連 平成 30 年 7 月豪雨支援カンパ」に呼応して、この要請に添えていくこととします。

各県本部退職者の会は、会員に対し構成組織を通じてカンパへ協力するようご対応をお願いいたします。

具体的には、9 月末までに行われる退職者の会行事・会議等において、カンパを募るなど、会員との接点を持ち得るタイミングを活用して積極的に対応してください。

【基幹労連支援カンパの概要】

- 取り組み期間 7 月 20 日（金）～9 月 28 日（金）
- カンパ方法 各組合に一任

中央退職者の会に関する追加報告

基幹労連シニアクラブニュース第 40 号（7/6 発行）において、お知らせした幹の会第 6 回総会報告において、中央退職者の会への改組に伴い刷新された役員体制についてご案内しておりませんでしたので、改めて本号において報告いたします。

| | | |
|------|---------------------|--------------------|
| 代 表 | 澤田 和男（IHI 労連） | |
| 副代表 | 兼子昌一郎（JFE スチール労連） | 吉岡 正親（三菱マテリアル総連） |
| 事務局長 | 渡辺 強（基幹労連本部・IHI 労連） | |
| 幹 事 | 中里 良直（大同特殊鋼労連） | 吉沢 勇次（三菱重工グループ 労連） |
| 顧 問 | 宮園 哲郎（新日鐵住金労連） | |

以 上